

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岡崎女子大学
設置者名	学校法人清光学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
子ども教育学部	子ども教育学科	夜・通信			17	17	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ガイダンス等で学生へ配付するとともにインターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/univrelease/#univrelease03

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡崎女子大学
設置者名	学校法人清光学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

インターネットにより公表
<https://okazaki.ac.jp/about/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元安城市副市長	2022.5.29 ～ 2025.5.28	経営計画の策定、組織運営体制へのチェック機能
非常勤	愛知大学特別客員教授	2022.5.29 ～ 2025.5.28	経営計画の策定、地域連携、組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡崎女子大学
設置者名	学校法人清光学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本学のカリキュラム・ポリシーに、「シラバスにおいて、挙証可能な学習成果と評価方法を示す。」と記載している。</p> <p>シラバスについては、各授業担当者への作成依頼の際に、「シラバスを作成する際の注意事項」を配付し、成績評価項目に繋がることを意識した授業の到達目標、各授業回の具体的な計画、授業の目的・目標に応じた多角的な成績基準とその配分割合を設定し記載することを求め、実施されている。</p> <p>更に、シラバスチェック会議を設置しており、同委員会ではディプロマ・ポリシーに基づく到達目標、授業の目的、自修、授業計画及び成績評価方法等について適正であるかチェックしたうえで、不備などがある場合には修正を求めている。</p> <p>完成したシラバスは、3月下旬にインターネットにより公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>インターネットにより公表</p> <p>https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/univrelease/#univrelease06</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業担当者は、あらかじめシラバスに、授業の目的・目標に応じた多角的な方法や基準、その配分割合、測定可能な成績評価基準を設定し、学生の学修成果に基づき、シラバスに設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与を実施している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「岡崎女子大学履修規程」「岡崎女子大学における GPA 制度の取扱いに関する要項」において、学期 GPA 及び通算 GPA の算出方法を定めている。</p> <p>学期 GPA は、その学期に評価を受けた科目で得た GP(各評価に与えられる数値)とその科目の単位数の乗数の合計と、その学期に評価を受けた科目の単位数の合計を除した数値とする。</p> <p>通算 GPA は、各学期に評価を受けた科目で得た GP とその科目の単位数の乗数の合計の総和と、各学期に評価を受けた科目の単位数の合計の総和を除した数値とする。</p>	

<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/univrelease/#univrelease04 また、履修要項に掲載し、入学時に学生へ配付するとともにガイダンス等において周知している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 岡崎女子大学及び子ども教育学部並びに子ども教育学科ディプロマ・ポリシーを策定し、インターネット、履修要項等で公表している。</p> <p>岡崎女子大学ディプロマ・ポリシー 以下の力や資質を獲得したものに学士の学位を授与する。 DP I：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。 DP II：専門分野の確かな知識・技能を持ち、現代社会のニーズに対応しうる専門的職業人の資質を獲得している。 DP III：主体的で自律的な学習態度・課題探究能力を修得している。 DP IV：実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。 学生の修得単位数等を踏まえて、卒業認定における根拠として用いている。</p> <p>子ども教育学部ディプロマ・ポリシー 以下の力や資質を獲得したものに「学士（子ども教育）」の学位を授与する。 DP I：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。 DP II：専門職としての確かな知識・技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる教諭・保育者の資質を獲得している。 DP III：自律的な学習態度・課題探究能力を修得している。 DP IV：教育・保育分野の実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。</p> <p>子ども教育学科ディプロマ・ポリシー 子ども教育学部のディプロマ・ポリシーと同じ。 卒業認定については、上記の方針や学生の修得単位数等を踏まえて、適切に認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/univrelease/#univrelease04</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岡崎女子大学
設置者名	学校法人清光学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/
収支計算書又は損益計算書	インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/
財産目録	インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/
事業報告書	インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/
監事による監査報告(書)	インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: Seiko G PLAN)	対象年度: 2022-2026)
公表方法: インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/information/	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: インターネットにより公表 https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 子ども教育学部子ども教育学科
教育研究上の目的（公表方法：インターネットにより公表） https://okazaki.ac.jp/about/policy_okajo/
（概要） 岡崎女子大学子ども教育学部子ども教育学科は、小学校教諭一種免許状・幼稚園教諭一種免許状・保育士資格・ピアヘルパーを取得し、主として小学校・幼稚園・保育所・子ども園・児童福祉施設などへの就職を目指す教員や保育士を養成する。子ども教育学部子ども教育学科の教育研究対象は、教育学・保育学である。子ども教育学部は、伝統的な教育学・保育学を教育研究の中核としつつ、変容する現代社会のニーズを的確に受け止め、子どもを取り巻く複雑で多様な問題に関して柔軟な視点を用いた研究を行い、その成果を保育者養成に具体的に反映していくことをその教育的使命としている。 子ども教育学部においては、人間としての基盤を形成する幼児期の子どもに中心的な関心を当てつつ、学童期の子どもにも視野を広げた教育研究を行う。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：インターネットにより公表） https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/univrelease/#univrelease04
（概要） 以下の力や資質を獲得したものに「学士（子ども教育）」の学位を授与する。 DPⅠ：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。 DPⅡ：専門職としての確かな知識・技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる教諭・保育者の資質を獲得している。 DPⅢ：自律的学習態度・課題探究能力を修得している。 DPⅣ：教育・保育分野の実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：インターネットにより公表） https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/univrelease/#univrelease06
（概要） 以下の方針に基づき、子ども教育学部のカリキュラムを編成する。 CPⅠ：教育課程に教養科目と専門科目を置く。 CPⅡ：基礎的・一般的学習から発展的・研究的学習へ、という順序性を持った科目配置とする。 以下の方針に基づき、子ども教育学部の教育を実施する。 CPⅢ：教室内での学びと教育・保育現場での実践的な学びを組み合わせた教育を行う。 CPⅣ：学生の学びを引き出す、アクティブラーニングを行う。 CPⅤ：シラバスにおいて、挙証可能な学習成果と評価方法を示す。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：インターネットにより公表） https://okazaki.ac.jp/about/policy_okajo/
（概要） 子ども教育学部への入学者に以下の力や資質を求める。 APⅠ：現代人に求められる教養の基礎やコミュニケーション基礎力を持っている。 APⅡ：専門の知識・技能を修得するための基礎学力や、教諭・保育者になるための意欲・関心・適性を有している。 APⅢ：自律的な学習態度や、課題に対する思考力・判断力への基盤を持っている。 APⅣ：教育・保育の実践から学ぶ姿勢と地域貢献への意欲を持っている。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：インターネットにより公表

https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
子ども教育学部	—	9人	2人	3人	0人	1人	15人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			25人				25人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：インターネットにより公表 https://www.acoffice.jp/owuhp/KgApp?courc=1010010					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
子ども教育学部	100人	36人	36%	400人	213人	53%	人	1人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100人	36人	36%	400人	213人	53%	人	1人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
子ども教育学部	92人 (100%)	人 (%)	89人 (96.7%)	3人 (3.3%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	92人 (100%)	人 (%)	89人 (96.7%)	3人 (3.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学のカリキュラム・ポリシーに、「シラバスにおいて、挙証可能な学習成果と評価方法を示す。」と記載している。</p> <p>シラバスについては、各授業担当者への作成依頼の際に、「シラバスを作成する際の注意事項」を配付し、成績評価項目に繋がることを意識した授業の到達目標、各授業回の具体的な計画、授業の目的・目標に応じた多角的な成績基準とその配分割合を設定し記載することを求め、実施されている。</p> <p>更に、シラバスチェック会議を設置しており、同会議ではディプロマ・ポリシーに基づく到達目標、授業の目的、自修、授業計画及び成績評価方法等について適正であるかチェックしたうえで、不備などがある場合には修正を求めている。</p> <p>完成したシラバスは、3月下旬にインターネットにより公表している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>各授業担当者は、あらかじめシラバスに、授業の目的・目標に応じた多角的な方法や基準、その配分割合、測定可能な成績評価基準を設定し、学生の学修成果に基づき、シラバスに設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与を実施している。</p> <p>岡崎女子大学及び子ども教育学部並びに子ども教育学科ディプロマ・ポリシーを策定し、インターネット、履修要項等で公表している。</p> <p>岡崎女子大学ディプロマ・ポリシー</p> <p>以下の力や資質を獲得したものに学士の学位を授与する。</p> <p>DPⅠ：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。</p> <p>DPⅡ：専門分野の確かな知識・技能を持ち、現代社会のニーズに対応しうる専門的職業人の資質を獲得している。</p> <p>DPⅢ：主体的で自律的な学習態度・課題探究能力を修得している。</p> <p>DPⅣ：実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。</p> <p>学生の修得単位数等を踏まえて、卒業認定における根拠として用いている。</p> <p>子ども教育学部ディプロマ・ポリシー</p> <p>以下の力や資質を獲得したものに「学士（子ども教育）」の学位を授与する。</p> <p>DPⅠ：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。</p>

DPⅡ:専門職としての確かな知識・技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる教諭・保育者の資質を獲得している。
 DPⅢ:自律的学習態度・課題探究能力を修得している。
 DPⅣ:教育・保育分野の実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。
 子ども教育学科ディプロマ・ポリシー
 子ども教育学部のディプロマ・ポリシーと同じ。
 卒業認定については、上記の方針や学生の修得単位数等を踏まえて、適切に認定している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
子ども教育学部	子ども教育学科	124 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法:インターネットにより公表
https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
子ども教 育学部	子ども教 育学科	690,000 円	240,000 円	390,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>前期分授業料等の徴収に関して、一定の期限までに猶予する取組を実施しており、学納金納付期限(4月末)までに本学所定の届け出書類を提出すれば、前期授業料等の納付期限の「延納」もしくは「分納」ができる。各願届の提出時に委託徴収金(学友会費・保険料)の納入が必要。学納金納入期日はいずれも6月30日で、「分納」は毎月末の3回の分納となっている。</p> <p>経済的支援に関する相談に対しては、学生支援課で個別に対応し、必要に応じて日本学生支援機構や市町村の奨学金、教育ローンなど各種の経済支援の情報を提供し支援している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>キャリア支援年間計画による職業指導(キャリアガイダンス・キャリアデザイン講座・合格支援講座・資格取得支援)及びキャリアカウンセラー2名の配置、Webによる就職支援システムを整備している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生の心身の健康等に関する相談は、学生相談室と保健室が窓口となっており、保健室には、カウンセラー(臨床心理士)、看護師を配置し、相談体制を整え、きめ細かく対応し、学生個々の状況によっては、必要な情報をクラス指導主任やゼミ担任と共有し、学生に寄り添った支援を行っている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：インターネットにより公表</p> <p>https://okazaki.ac.jp/about/disclosure_okajo/</p> <p>備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。</p>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F123310106906
学校名 (〇〇大学 等)	岡崎女子大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人清光学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		16人	16人	17人
内 訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				17人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	一人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	一人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。